

# Quality Management News

《医療の質・安全ニュース》



No. 21 11/12/吉日

## 安全に関する講演会の紹介～北摂ME研究会～

北摂 ME 研究会（本年 7 月 9 日開催）において、本院医療技術部・ME サービス部の野口悟司副部長により、医療機器管理と安全に関する講演が行われました。今号では、講演内容を一部ご紹介します。



野口副部長

### トラブルから学ぶ医療の安全

医療現場は、マルチタスクや複数の医療従事者の関与、緊急事態等、エラーが発生しやすい状況にあります。エラーが発生した時には、**そのエラーから学び、次回に役立てましょう。**

#### トラブル発生時に見られる行動：その1

- ・ 不用意な責め言葉  
→ 話しづらい関係が残り、次回の情報伝達に悪い影響を与える

#### ディブリーフィング（ふりかえり）

当事者を責めても、再発防止には役立ちません。対応が一段落したら、**当事者はそのときに何を考え行動したか？どのように感じていたか？どのようなプロセスでエラーが生じたか？**を聞き出しましょう。

#### トラブル発生時に見られる行動：その2

- ・ 現場がパニックに陥る
- ・ 多職種が口々にさまざまなことを指示
- ・ リーダーが誰なのかわからない
- ・ よく知らない緊急時対処は、咄嗟には行えず、フリーズしてしまう
- ・ 対処法（の鑑別）を知っているはずなのに、1つの解決法に1点集中

#### フリーフィング\*（事前の打ち合わせ）

開始前に、**手順や起こりうる緊急事態とその対処、役割分担**をチーム全員で共有しましょう。

\*医療安全ビデオ教材：気管切開中の発火「フリーフィング」（中央 QM 部作成）を使用

#### ハドル（最中の打ち合わせ：流れのリセット）

トラブルの最中に、**リーダーを確定し、現状の確認、役割分担、対処の手順確認、全員が理解したことの確認**を行いましょう。

**トラブル発生・緊急時の上手な対処や、その教訓の活用のためには、テクニカルスキル（知識や技術）とともに、ノンテクニカルスキルが重要です。**

#### 北摂 ME 研究会とは…

臨床工学技士が携わる業務の知識・技術の向上を目指して、主に医療機器について討議し、相互啓発を図ることを目的に、北摂の臨床工学技士の有志の方々が設立された会です。勉強会には、北摂地域にとどまらず、毎回、日本各地から臨床工学技士 50-80 名が参加され、活発な議論が行われています。

速報!

# 阪大病院eラーニングシステム 第8回日本e-Learning大賞 厚生労働大臣賞 受賞!

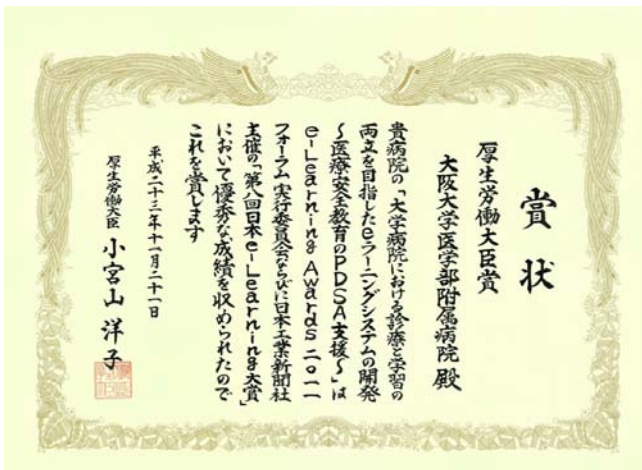
(2011年11月21日)

第8回 日本e-Learning大賞  
厚生労働大臣賞



\* 日本 e-Learning 大賞とは?

日本 e-Learning 大賞は、学校や職場等における新しい学習の可能性・学力向上や生産性向上・業務改革などに役立つ、さまざまなコンテンツ、サービス、ソリューションを表彰する賞です。今年は 75 件の中から、最も優秀な取り組み 4 作品に対して厚生労働大臣賞、文部科学大臣賞、総務大臣賞、経済産業大臣賞の各賞が与えられました。



左から審査委員長 岡本敏雄氏（電気通信大学大学院情報システム学研究科教授）、中島和江（大阪医学部附属病院中央クオリティマネジメント部部长・病院教授）、佐藤誠氏（厚生労働省職業能力開発局総務課基盤整備室室長補佐）

今回の賞は、中央クオリティマネジメント部を中心に開発・導入をすすめてきた「大学病院における診療と学習の両立を目指した e ラーニングシステムの開発～医療安全教育の PDSA 支援～」に対して授与されたものです。審査委員会からは、「病院における職員教育の難しさを、①アクセシビリティ、②ユーザビリティ、③クオリティ・オリジナリティといった視点から克服した。e-Learning のコンセプトを柔軟に捉え、技術的、教育的、運用的に優れた実践である。病院と大学医学部との合理的なシステム連携の工夫など、医療分野での開発・実践の事例として高く評価する」という講評（抜粋）をいただきました。



中央クオリティマネジメント部一同

### ＜公開中の e ラーニングコンテンツ＞

- ・年 2 回の医療安全講習会（全職員対象）
  - －リスクマネジメント講習会
  - －感染対策講習会
  - －医療機器安全管理講習会
  - －医薬品安全管理講習会
- ・眼内レンズの準備および確認の方法（眼科限定）
- ・注射実施入力に関する実態調査（実施終了）
- ・「いろはうた」の取り組みに関するアンケート調査（実施終了）

### ＜リリース予定の e ラーニングコンテンツ＞

- ・胃管挿入処置マニュアル（リスクマネジメント委員会）
- ・個人情報保護（病歴管理委員会）
- ・パスの作成・運用方法（パス委員会）